

ホタテガイ養殖管理情報

稚貝分散は、水温が23℃以下になり、貝のフチがまわっていることを確認してから開始してください。

1 海況および今後の見込み

9月20日～26日の各ブイの中層～下層の水温は図1、2のとおりで、全ブイで水温が低下し始めています。また、9月26日時点の各ブイの水温区分ごとの出現日数は表1のとおりで、平館、青森、東湾ブイの15m層では、一昨年（2010年）の同時期よりも高水温の日が少ない状況です。

気温が急激に低下してきましたが、水温はゆっくりと低下してきているため、依然として25℃台で推移しています。引き続き、玉付けや掃除、分散、へい死確認などの作業を行わないでください。

2 稚貝分散作業の注意事項

- 稚貝分散の目安となる15m層の水温が23℃以下になるのは早い所で10月上旬になる見込みです。
- 水温は地区や時刻によって異なっているので、作業を開始する前に必ず確認してください。
- 今年の稚貝は、体力が例年以上に低下しているので、丁寧に扱しましょう。
- 作業は、水温の状況だけではなく、必ず、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている（成長している）」ことを確かめてから開始するようにしてください。
- ミミズガキ（カサネカンザシ）が付着し、欠刻異常となった稚貝も、水温が低下して成長し始めると欠刻部分が回復してきます。また、例年よりも稚貝が小さく、生死判別が難しいことから、稚貝が不足しないように大切に扱ってください。
- 潮流が速い時には、分散した稚貝の外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死する場合がありますので、作業を行わないでください。
- 作業終了後は波浪の影響を受けないように、施設を浮かせずさないようにしましょう。

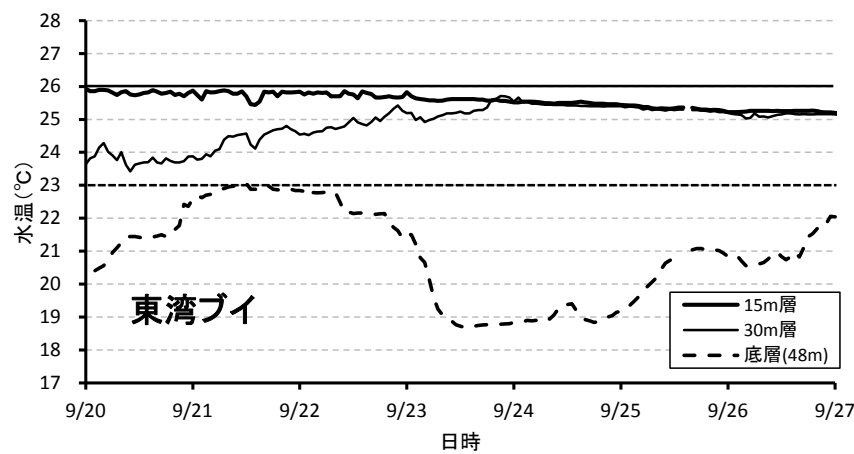
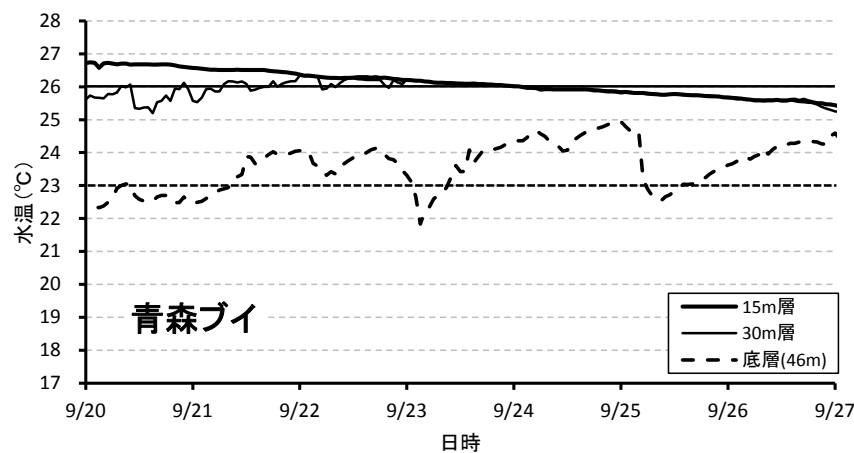
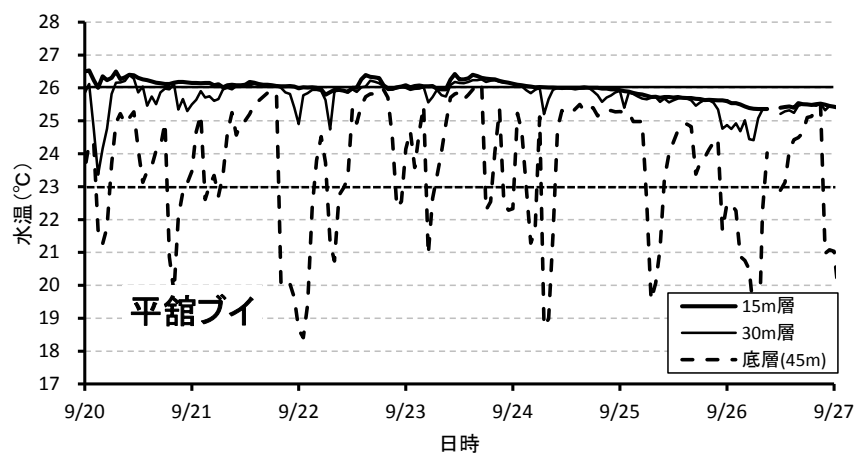


図1 海況自動観測ブイでの中層～下層の毎時の水温変化

表1 各ブイの水温区分ごとの出現日数

	平館15m		青森15m		東湾15m		奥内	野辺地	浜奥内	蓬田	東田沢	清水川	横浜	川内	脇野沢
	2010現在	2012現在	2010現在	2012現在	2010現在	2012現在									
23℃を超える	53	38	50	38	40	24	46	39	42	39	34	31	28	25	32
24℃を超える	46	34	47	32	34	21	37	32	34	34	31	27	18	22	27
25℃を超える	34	28	27	23	20	20	32	18	21	30	22	18	16	20	24
26℃を超える	12	10	11	6	6	0	18	10	8	15	11	11	8	7	11

3 新貝の分散作業等について

新貝は、稚貝よりも高水温に弱いため、まだ入れ替えや掃除といった作業を行わないでください。分散の目安となる15m層の水温が20℃以下になるのは、10月下旬以降になる見込みです。

4 その他

今後の水温の動向は、陸奥湾海況情報や、海況自動観測ブイもしくは水温自動観測ブイ（ホームページ、QRコード）を参考にしてください。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156